

世界の水とつながる暮らしの水

日本の食料の60%は 世界の水に頼っています。

日本の水道水の自給率は100%。しかし、食料の自給率は40%しかなく、60%は世界各国で生産された食料で支えられています。輸入食料は、穀類でも肉類でも、それぞれの国の水を使ってつくられたもの。干ばつや洪水、水汚染といった問題は、世界の人の暮らしを直撃するだけでなく、農産物にも大きな影響を与えます。それは、私たちの暮らしにも、そのままつながる重要な課題です。

大阪の真夏日が増加傾向にあるように、地球温暖化も世界規模で拡大しています。海面の上昇、洪水、水没だけでなく、地球全体の水資源に計り知れない変動をもたらす恐れがあります。地球はひとつ。世界の水問題は、私たちの問題です。



日本から世界へ、「水の世紀」のメッセージを。 第3回世界水フォーラム

2003年
3月16日
～
3月23日

災害や汚染、紛争などで危機に直面している世界の水問題の解決に向け、相互理解と方策を探る国際会議を、大阪、京都、滋賀を結んで開催。

大阪府営水道もインテックス大阪会場で「水と都市と産業、そして未来」をテーマにした展示会「水のEXPO」に参加します。